



福山大学

FUKUYAMA UNIVERSITY

学 報

2014.7.10 Vol. **141**

三蔵五訓

真理を探究し、道理を実践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



平成25年度の就職状況と 新入生合宿オリエンテーション

卒業生の就職状況	1
充実した就職支援	2
新入生合宿オリエンテーション	3
研究活動	5
地域連携活動	6
学内トピックス	7
インフォメーション	9
学友会短信	10
国際交流瓦版	11
学内人事	12
財務状況	13
入学試験の概要	15

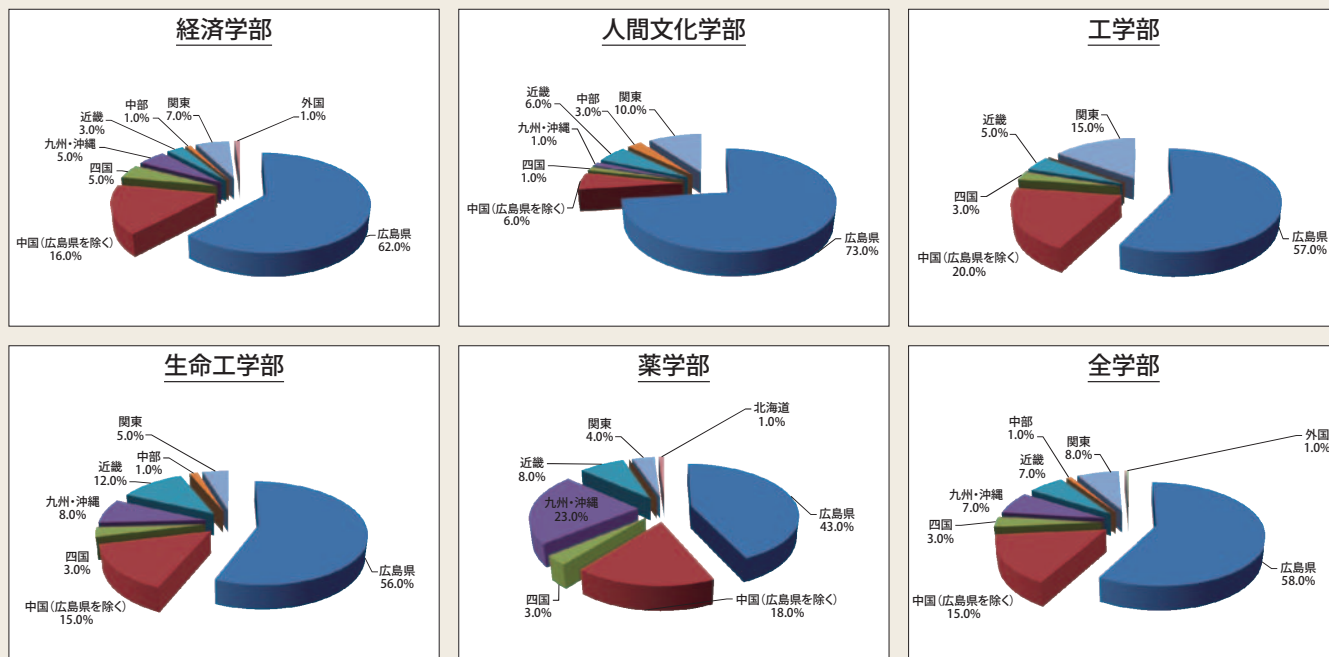
平成25年度の就職状況と就職支援

平成25年度に福山大学が受付けた求人数は9,951件で、昨年度の9,856件を約100件上回りました。就職情報サイトのWEB募集等を加えれば求人数もかなり向上し、平成25年度における卒業生の就職率は98.8%を達成することができ、昨年度の98.1%を0.7%も上回りました。中国・四国地区は92.8%という中で、卒業生が頑張った結果といえます。なお、全国平均は94.4%（そのうち、私学は93.7%）となっていますが、これを大きく上回る就職率を達成することができました。このように、就職状況はかなり良くなっており、努力すればほとんどの学生が就職可能な状況になっています。

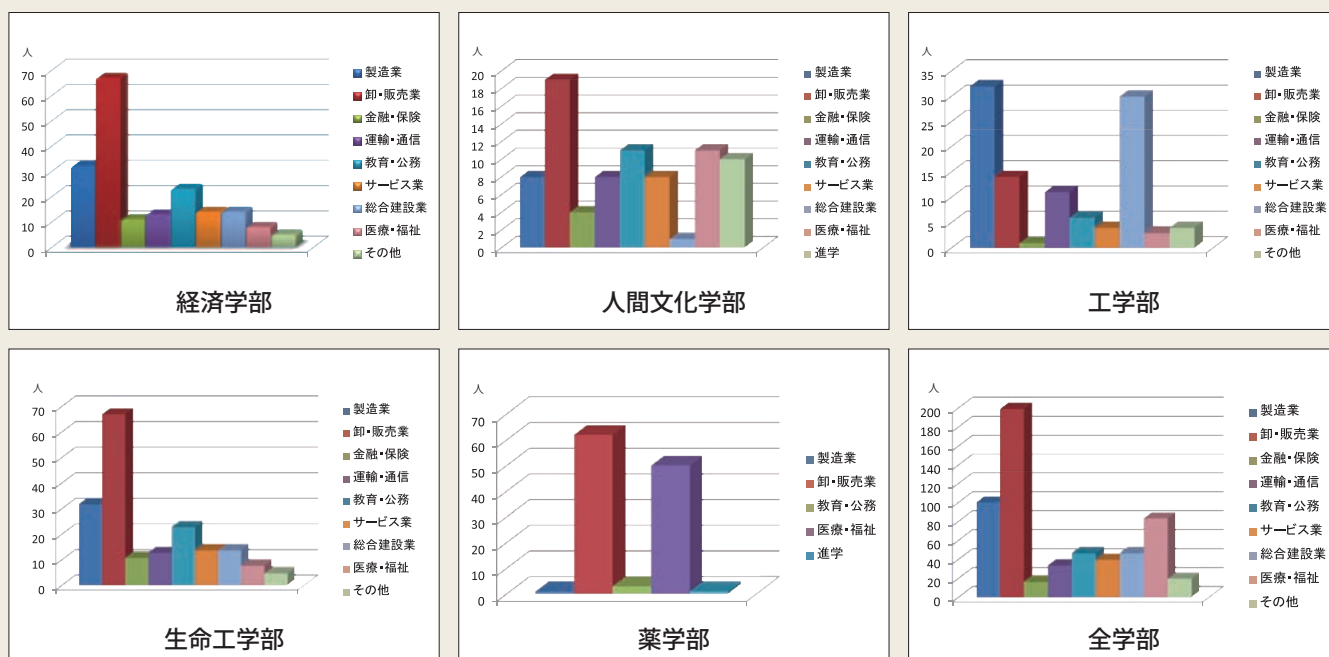
現在は、就職委員会を中心に今年就職した卒業生の就職先を優先的に企業訪問し、卒業生のフォローと新卒採用枠拡大のお願いをしています。また、学内での単独企業説明会を積極的に増やすなど、大学を挙げて就職支援を強化しています。

平成25年度卒業生の各学部・全学部の地域別及び業種別（大学院等への進学を含む）の進路状況は、以下の通りです。

平成25年度 地域別進路状況



平成25年度 業種別進路状況



福山大学独自の就職支援の取り組み

福山大学では、学生一人ひとりが少しでも希望する職業に就けるよう、ゼミ担当教員を中心に就職委員や就職課職員が一体となった独自の下記プログラムによる就職支援を行っています。

今年から国家資格「キャリアコンサルティング技能検定1級」保有の職員採用により、就職対策講座は学生の希望する日時に随時対応できることになりました。

個別指導としては、学生がWEB就職システムに登録した希望する職種・業種・企業名をゼミ担当教員や就職課職員が確認したうえ、適切な指導や支援を行っており、面談内容を登録することでゼミ担当教員と就職課職員とが相互に情報を共有します。また、学生は就職活動の現況報告を登録することで、ゼミ担当教員や就職課職員と双方のコミュニケーションを充実させることができます。このように、一人の学生に対し、多方面から一貫性のある就職支援を可能にしています。WEB就職システムには、学生が大学宛の求人票を学内だけでなく自宅からでもパソコンやスマホを使って閲覧・検索できたり、自分が希望する企業や職種・業種を登録しておけば、求人票が大学に届いた時に学生個人のメールアドレスに案内する機能も備えています。

その他、次のような支援を行っています。

1.就職ガイダンス

- 第1回就職ガイダンス：5月
就活スケジュールとこれからの対応
- 第2回就職ガイダンス：5月
一般常識模擬テストの実施
- 第3回就職ガイダンス：7月
学外講師による一般常識テストのフォローアップ講座
- 第4回就職ガイダンス：7月
ゼルコバ活用方法について
- 第5回就職ガイダンス：10月
SPI2模擬テストの実施
- 第6回就職ガイダンス：11月
外部講師によるSPI2テストのフォローアップ講座
- 第7回就職ガイダンス：12月
就職体験発表会

2.就職対策講座

- (1) 就職セミナー：6月・9月・11月
(専門家による)
- (2) 新聞の読み方講座：6月
- (3) 履歴書・エントリーシートの書き方講座：随時
- (4) グループ面接対策講座：随時
- (5) グループディスカッション対策講座：随時

3.学内合同企業説明会

- 福山大学の学生のために県内外から優良企業等を招き、説明会を開催
- 2月に全学部を対象として3回実施し、206社が参加
- 5月に主に薬学部を対象とした説明会を開催し、30病院と90社が参加

4.単独企業説明会

- 福山大学の学生のために学内で個別の会社説明会を実施

5.保証人との就職懇談会

- 薬学部：4月
- 経済学部・人間文化学部・工学部・生命工学部：12月

6.国家資格「キャリアコンサルティング技能検定1級」保有の職員による就活相談・面接訓練

7.ジョブサポーターによる就活相談

8.就職情報サイト運営会社が主催する合同企業説明会(広島市・岡山市)に貸切バスで参加。

- 広島県・岡山県内外の多くの学生が集まる合同企業説明会に貸切バスで参加し、就活意識を高揚。

採用内定者のコメント



税務会計学科 4年
藤井 理沙
内定先
野村證券株式会社

私が就職活動を意識し始めたのは、3年生の夏休みでした。大学主催のインターンシップがあり、友人の間でも就職活動の話題が上がり始めたからです。私は、将来金融関係の仕事に就きたいと思っていたので、まずは証券会社と銀行の2つに絞りました。インターンシップでは、野村証券に行きました。そこでは、証券会社の業務や金融の知識を勉強し、新聞から上場しそうな株を見つけ出して、プレゼンテーションを行いました。このことをきっかけに、野村証券で働きたいと強く思うようになりました。また、この日から日本経済新聞の購読や日経平均株価・為替レート、金融関係の記事、自分に関心のある企業の記事の切り抜きを始めました。11月になると、大学主催のセミナーの他に就職サイト主催のセミナーにも積極的に参加しました。12月から始まる就職活動にあたっての流れや、今後の取り組みについて教わりました。このセミナーに参加したことで、焦ることなく就職活動を頑張ることができました。

私が最も力を入れたことは、自己分析と企業研究です。初めは自分のことは分析しなくてもわかるだろうと思っていましたが、自己分析をきちんとしていないと行き詰ってしまいます。また、企業研究はその企業の業務内容や、どんな人材を求めているか、経営方針は何か、などは把握していた方がいいと思いました。就職活動を通して他大学の学生と知り合い、情報交換をしたり挫折しそうな時は、お互いを励まし合いながら一緒に頑張りました。また、早めに行動することが就職活動を成功させるカギになると思いました。

就職活動は、自分にとって人生を左右する大きなイベントです。ゼミの先生や就職課の方々には大変お世話になり、自分が希望する企業に就職できたのも福山大学で学ぶことができたおかげだと感謝しています。後輩の皆さんも、先生や就職課の方々と相談しながら、最後まで諦めずに就職活動を頑張ってください。



電子ロボット工学科 4年
藤原 奨馬
内定先
株式会社クラレ
岡山事業所

私は3年生の12月から就職活動を始め、大学がバスで連れて行ってくれる合同企業説明会や大学主催の合同企業説明会に積極的に参加しました。この説明会で、多くの企業を知ることができました。12月まで自分は何をしたらよいのか？どんな仕事に向いているのか？よくわかりませんでしたが、いろいろな企業担当者の懸命な説明を聞くうちにどんな企業に行きたいかがはっきりしてきました。

実は、クラレ岡山事業所の求人合同企業説明会で知りました。岡山県内でとても大きな企業であり、採用試験を受けるのに少し躊躇しましたが、応募しました。(大企業でも採用試験を受けてみなければ受かりません！)そして、クラレのことをもっと詳しく知るために、企業説明会と工場見学に参加しました。実際に職場の雰囲気を知り、また働いている人の話を聞いて、是非この会社に入りたいと思うようになりました。

会社を受験するためには、まずエントリーシートの提出が必要です。私は、自己PRや志望動機などをまとめるために、就職課を活用しました。自己PRや志望動機を書くためには、自己分析や企業研究が必要であることを、この作業を通じて理解しました。また、面接対策のためにもこの作業は重要でした。

就職活動で自分がやりたいことができる会社、今までやってきたことが活かせる会社を探すためには、合同企業説明会でいろいろな企業を知ることが大切です。さらに、自分に悔いが残らないように一つでも多くの会社を知り、チャレンジすることが最も重要だと思います。また、いろいろな場面で就職課を利用することをお勧めします。いろいろな経験に基づいて、私たちが考えている以上のアドバイスをもらうことができます。積極的に活用し、就職活動を成功させてください。



薬学科 6年
山口 新
内定先
武田薬品工業
株式会社

私は就職活動を通して多くのことを体験し、大切なことを3つ学びました。1つ目は「多くの選択肢の中で、自分は何がしたいか、どのように社会に貢献していきたいかを明確にしておくこと」です。薬学生には保険調剤薬局、病院、ドラッグストア、公務員、製薬メーカーなど多くの選択肢があります。どの進路を選択し、どのような生き方があったのかを真剣に考えておく必要があります。2つ目は「就職活動をするにあたって、周囲の人の理解を得て、支えてもらえることが成功の鍵である」ということです。私は就職活動を12月から開始しました。1月下旬から2月まではエントリーシートの提出、2月から3月までは説明会への参加、その後4月上旬までは面接が続き、精神的にも体力的にもかなり辛い時期もありました。また、この12月から4月までの間は、卒業研究を行いながらの就職活動でした。研究室の先生をはじめ、共同研究者である友人の深い理解と支えがあったからこそ就職活動に取り組めたと感謝しています。そして、3つ目は「就職活動の中で1番重要視すべきことは、面接練習であるということ」です。いくらエントリーシートを上手に書き、WEBテストを高得点で通過しても、最終ステップの面接で通過できなければ内定は獲得できません。だからこそ面接において、等身大の自分を表現し、論理的に話すことができるように、しっかりと練習する必要があります。私は、研究室の先生や就職課の方々に面接練習をしていただきました。それにより、本番では自信を持って臨むことができたと感じています。これから就職活動を行う後輩の皆さん、自分を信じ、噂などの曖昧な情報に惑わされることなく、自信を持って頑張ってください。

新入生合宿オリエンテーション



オリエンテーションセミナーを終えて

4月5日(土)～6日(日)の2日間、経済学部の新入生合宿オリエンテーションが「ツネイシしまなみビレッジ」において行われました。この合宿は、福山大学の新入生が授業のシステムやサークル及び部活動について、また大学生としての心得などの理解を深めることを目的に行われるものです。さらに、同級生と寝食をともにすることによって、多くの「つながり」を作ることもできます。

私は入学式後、サークル関係の友人しかおらず、大学の講義のことなど全く何もわかりませんでした。このような状況で、きちんとした学生生活が送れるのか不安な気持ちでいっぱいでしたが、この合宿に参加することで不安が一掃され、逆にこれからの学生生活が大変楽しみなものへと変化しました。特に、各先生や学生リーダーの先輩方に詳しく講義の中身を教えていただき、スムーズに時間割を決定することができました。また、私は大変人見知りをするのですが、班の仲間と多くの会話ができて、心から打ち解けることができた気がします。わずか1泊でしたが、想像以上に多くの友人を作ることができました。

この合宿を通じて、今後の学生生活に不安なくいいスタートがきれ、大変貴重な体験になりました。卒業までの4年間、勉強とサークルを両立させ、より充実したキャンパスライフを送りたいと思います。

経済学部 1年 黒川 達也

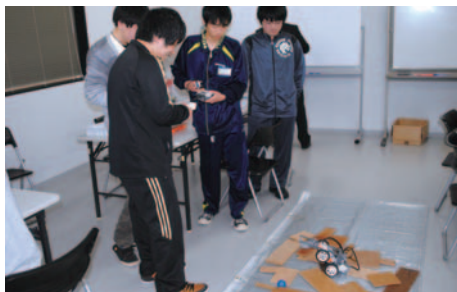
続く関係を作る

私たち人間文化学科は、入学式の翌々日から「尾道ふれあいの里」で1泊2日の新入生合宿オリエンテーションを行いました。合宿に行くまでに時間割を作成しましたが、わからないことも多く、これからの学生生活を有意義に過ごすことができるのかという不安が胸の中で渦巻いていました。しかし、先生方や合宿に参加してくださった先輩方が優しく接してくださったおかげで、合宿前の緊張がとても和らぎました。

午後からバスを使って尾道ふれあいの里へ出発しましたが、皆、自己紹介を終え気の合う仲間を見つけていて、打ち解けた雰囲気でした。合宿所に到着し、少しして3学科合同で夕食をとった時は、まだ話をしたことのない人や先輩、先生と自然に話す機会が増え、交流が深まりました。夕食後には、先輩方が企画してくれたレクリエーションを楽しみました。イントロクイズやジェスチャーゲームは経験がなかったのですが、新しい仲間と新鮮な気持ちで交流でき、盛り上がってとても楽しかったです。

また、先輩方や先生方が「困った時はいつでも相談してほしい」と言ってくださったため、とても気持ちが楽になりました。1泊2日という短い時間でしたが、先生や先輩を含め、これからの4年間をともに支えあう新しい仲間を作ることができた有意義な時間となりました。

人間文化学科 1年 吉川 万葉



レスキュー大会

私たちスマートシステム学科は、4月5日(土)～6日(日)に行われました新入生合宿オリエンテーションで「ツネイシしまなみビレッジ」に行きました。

1日目は、ツネイシしまなみビレッジに到着次第、簡単なロボットを使ってレスキュー大会を行いました。16人を4班に分け、それぞれの班がそれぞれ違ったレスキューロボットを作り、大会は白熱したものになりました。内容は、レゴで作ったロボットでガレキを走破して赤玉を掴んで帰ってくるというものでした。最初はうまく機能しなかったのですが、みんなで力を合わせることで少しずつ性能が向上していき、まじめで楽しく活動ができました。うまく作動したチームもしなかったチームもありましたが、ロボットのことが少しずつわかってきました。

2日目は、楽しかった昨日とは打って変わって数学のテストでした。

合宿オリエンテーションが終わった時は、みんな疲れていましたが、とても有意義なものとなりました。

みんなで頑張って、4年間を笑顔で過ごしていきたいと思います。

スマートシステム学科 1年 青木 尚人

交流深めたオリエンテーション

生物工学科では、「ツネイシしまなみビレッジ」で1泊2日の新入生合宿オリエンテーションを行いました。到着して早々、自由時間があつたので何をしようかと考えていたところ、外に広い場所もあるので「鬼ごっこ」をしようということになりました。まだ名前もわからない状態でも、ほぼ全員の男子がついてきたのには驚きました。この鬼ごっこはなんだかんだと盛り上がり、名前もわからない同級生との距離が一気に縮んだ気がしました。また、食事がバイキング形式だったので、名前を聞きつつ一緒に食べ、そのあとの浴室での裸の付き合いで、より一層距離が縮みました。時間割は先輩の話聞きながら、仲の良い者同士、同じ進路を目指す者同士で相談して決めました。2日目のバレーボール大会では、仲が良くなったメンバーでチームワークを発揮して、良い成績をとることができました。今回のオリエンテーションはとても打ち解けた雰囲気、学校での行事とはいえ、プライベートな時間を一緒に過ごしたことは人の距離を縮めるのに有効だと思いました。最後に、いろいろと相談に乗っていた先輩方や先生方に大変お世話になりました。このメンバーで、4年間楽しく学生生活を送りたいと思います。

生物工学科 1年 藤原 祐気



仲良くなるきっかけになりました

私たち薬学部は、「福山ふれあいランド」を訪れ、1泊2日の新入生合宿オリエンテーションを行いました。入学してあまり時間も経っていないので、最初はお互いに人見知りをしてしまい、とても合宿を楽しめるような気分ではありませんでした。また、天気もあまり良くなかったので、どうなるのかと不安な気持ちもありました。しかし、幸い天気はそれほど悪くならず、スポーツアワーと一緒にスポーツを楽しみ、汗をかいなおかげで、多くの友人を作ることができました。

夕食後のレクリエーションでは、「合作つくり方」というゲームを楽しみました。同じチームのメンバーと一切会話をせず、お題に合わせて1人1語ずつ交代で言葉を書き、文章を作っていくので、なかなか難しかったです。しかし、思いがけず面白い文章ができてたりして大変盛り上がり、とても楽しかったです。

就寝時間になると、緊張と疲れですぐに寝てしまう人もたくさんいましたが、お互いの出身地や高校時代の話などをしていると、あっという間に時間が経ってしまい、さらに仲良くなったような気がします。

今回の合宿はとても有意義でした。これからの6年間で楽しく、お互いに切磋琢磨できる仲間ができた2日間でした。

薬学科 1年 山口 琴史



研究活動

平成26年度

科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金)

★研究種目

◎研究代表者氏名 所属 職名
研究課題 (交付金額)

★基盤研究 C

- ◎桑原 哲也 経済学部 教授
高度成長期の外資系企業の経営史的研究 (70万円)
- ◎木村 安美 生命工学部 教授
高齢買い物弱者と低栄養との関連の検討に基づく食教育とその評価 (60万円)
- ◎三川 敦 経済学部 教授
公表情報が証券市場における投資家の意思決定に与える影響—社会責任情報を中心に— (60万円)
- ◎日比野 俐 薬学部 教授
マイクロ波照射下アザ電子環状反応を活用する縮合複素環天然物の全合成と医薬素材探索 (120万円)
- ◎田中 久男 人間文化学部 教授
トシオ・モリ文学の全体像の構築とジャパニーズ・アメリカニズム研究の確立 (90万円)
- ◎青野 篤子 人間文化学部 教授
男女平等意識の継承に関する研究：母親と娘の「語り」を通して (200万円)
- ◎日下部 典子 人間文化学部 教授
広島県における妊産婦を対象としたうつ予防のためのプログラムの実施と効果の検証 (120万円)
- ◎尾関 孝史 工学部 教授
電子ノートシステムの提案とその導入効果の検証に関する研究 (60万円)
- ◎石井 香代子 生命工学部 准教授
新調理システムを用いた介護食の品質評価 (30万円)
- ◎張 楓 経済学部 准教授
戦後地方工業集積のダイナミックな展開に関する基礎的研究—家具産業を事例に— (70万円)
- ◎日野 恵美子 経済学部 准教授
転地と経営者 アウトサイダー度のスペクトラム (40万円)
- ◎平 伸二 人間文化学部 教授
視覚・聴覚同時呈示法を用いた事象関連電位による虚偽検出 (110万円)
- ◎水上 優 工学部 教授
F.L. ライトの住宅作品の構成における「多様性生成システム」の研究 (120万円)
- ◎大塚 豊 大学教育センター 教授
中国の対外言語教育政策に関する研究—孔子学院の世界展開を中心に— (140万円)

★挑戦的萌芽研究

- ◎山本 覚 生命工学部 教授
ボディウェイト・コントロール中の脂肪酸代謝 (50万円)
- ◎太田 雅也 生命工学部 教授
植物のフィトレメディエーション機構解明と実用化に向けた取り組み (50万円)
- ◎赤澤 淳子 人間文化学部 教授
児童養護施設入所児の学力向上を目指した個別学習支援プログラムの開発 (100万円)
- ◎山口 泰典 生命工学部 教授
哺乳類ひげ毛根細胞の凍結保存・iPS細胞化・生殖細胞分化・体外受精 (90万円)

★若手研究 B

- ◎栗田 寛子 生命工学部 助手
高圧力・加熱処理により調製した柑橘マーマレードの品質比較 (70万円)
- ◎川人 潤子 人間文化学部 講師
知能に応じた自己複雑性介入プログラムの効果の検討 (120万円)
- ◎安田 暁 人間文化学部 准教授
デジタル・ハイブリッド技術による発色現象カラープリント技法の更新・制作展開 (50万円)
- ◎中浦 嘉子 生命工学部 助教
餅の煮溶け性と澱粉特性との相関解明 (90万円)
- ◎上敷領 淳 薬学部 講師
脂質異常症治療薬エゼチミブによるコレステロール吸収トランスポーター阻害機構の解明 (140万円)
- ◎瓜倉 真衣 生命工学部 助手
食品由来の脂質代謝酵素による機能性脂質の産生と調理の効果 (70万円)
- ◎堤 広之 薬学部 助教
茶ガレート型カテキン類を用いた不斉認識機構の解明 (100万円)
- ◎渡辺 伸一 生命工学部 准教授
ナルトビエイの行動計測による二枚貝類等の食害防除対策と沿岸生態系への影響評価 (70万円)



地域連携活動



ジェスチャーロボットの体験
(スマートシステム学科)



EVカーの展示
(機械システム工学科)



体組成計による測定体験コーナー
(生命栄養科学科)

府中産業メッセ2014で体験型展示

府中産業メッセ2014が、府中市総合体育館ウッドアリーナで5月24日(土)～25日(日)の日程で開催されました。この催し物は、地元企業の製品紹介、ご当地グルメの出店、イベントゲーム大会などが企画され、開催される2日間は地域のお祭りの雰囲気です。また、両日とも良い天気恵まれ、多くの来場者でにぎわいました。福山大学からは、工学部スマートシステム学科・機械システム工学科・生命工学部生命栄養科学科がブース出展を行いました。

スマートテクノロジーの体験イベント

電子・ロボット工学から名称変更したスマートシステム学科では、人間文化学科及び心理学科と共同開発したコミュニケーションロボットのデモンストレーション、セグウェイ型2輪車のリモコン操縦体験、実際のカメラ映像に不思議なキャラクターが写りこむ拡張現実(AR)技術の体験など、社会で注目されているスマートテクノロジーの出展を行いました。なかでも、ゲーム用センサとして開発されたマイクロソフトのKinectを利用したジェスチャーによるロボット操作体験やレスキュークローラーを用いたリモコンロボットの走行コーナーでは、順番待ちが出るほどの人気でした。

自作EVレースカーの展示

機械システム工学科の展示ブースでは、一昨年の四国EVカーレースでクラス優勝したEVカーが展示されました。機械システム工学科は、昨年のEVカーレースでも乗用車のコンバートカーでクラス優勝をした実力を持ちます。その礎となった今回展示のEVカーは、実際に乗車体験でき、ハンドルを握って楽しそうに記念撮影されるご家族で大変にぎわっていました。また、工作教室では、プラバン焼きで作るストラップ作成教室も開催され、こちらは女の子を中心に大盛況で、2日目の終了時刻間際まで人が集まるブースでした。

好評の体組成計による測定サービス

生命栄養科学科では、体組成計による骨密度や肥満度の測定サービスが実施されました。このコーナーはすっかり府中産業メッセの名物となっていて、今年も順番待ちの行列が途切れることはありませんでした。ここで健康状態をチェックするのが、毎年恒例になっている地元の方もいらっしゃるそうです。測定結果は、スタッフの皆さんが丁寧に説明してくださり、人気があるのもうなずけます。

催し物を通じた地元の一般の方への展示は、研究内容を見つめ直す良い機会になります。また、協力してくれた学生たちもコミュニケーション能力を磨く契機になったのではと期待しています。

ご来場していただいた皆様、ありがとうございました。また、来年もお会いできることを楽しみにしています。

社会連携センター 産学連携部長 香川 直己

平成26年度 市民フォーラム ―食と健康のライフサイエンス― 始まる



運営を担当する生命栄養科学科は、関係機関と協力しながら食を通じて健康な生活を維持、向上させるための情報を継続的に地域の方々に発信しています。本フォーラムは、その一環として平成20年度に生命栄養科学科が設立して以来、毎年開催し、7年目になります。栄養士などの専門職も含めて毎回定員を満す参加をいただき、好評を博しています。平成26年度も深い内容をわかりやすくお話しすることに努めます。

第1回の6月14日(土)は、すでに開催され、栄養関係や食品企業の方を含む100名の参加者のもと熱心な講演会となりました。栗田寛子助手は、「ほうれん草をゆでる時、塩を入れるのはなぜか。答えは、加熱するとほうれん草の緑色の成分が壊れて色が悪くなるが、食塩は変色を防止できるからである。」など、多くの人が普段何気なく行っている調理操作を科学的に解説しました。わかりやすく、調理のコツが頭から身につく内容でした。

続いて、山本英二教授は、食品や生体に関連する結晶について、生成過程及びその結晶の機能を解説しました。「アイスクリームの中の氷結晶の大きさを35～55μm以下に結晶化させることで食感の滑らかさを導いている。」「チョコレートの中のカカオバターの結晶の構造を制御することで口どけを変化させることができる。」「砂糖菓子のフォンダンの作り方にも結晶生成が関係している。」「米を炊飯すると、でんぷんの結晶が少なくなり美味くなる。」など、ミクロな結晶の観点から食品のポイントがわかる内容でした。

第2回も多くの方のご来場をお待ちしています。

生命栄養科学科 教授 山本 英二

+++++ 平成26年度 +++++

第1回6月14日(土) 14:00～16:00

定員100名、宮地茂記念館

【食と健康の科学】

①「身近な調理の科学」

生命栄養科学科 栗田 寛子 助手

②「食と健康に役立つ結晶の科学」

生命栄養科学科 山本 英二 教授

第2回11月15日(土) 14:00～16:00

定員100名、宮地茂記念館

【食育】

①「中・高年から子供へのメッセージ」

生命栄養科学科 石崎 由美子 教授

②「お酒との上手なつきあい方」

生命栄養科学科 赤木 収二 教授

③ 平成26年度市民フォーラム

「食と健康のライフサイエンス」修了式



硬式野球部及びサッカー部が、ともに全国大会へ出場！

硬式野球部が、2014年度中国六大学野球春季リーグ戦において、完全優勝を果たし、第63回全日本大学野球選手権大会に出場（28年ぶり4度目）しました。第63回全日本大学野球選手権大会は、6月10日（火）～15日（日）までの期間、東京の明治神宮野球場及び東京ドームで開催されました。福山大学は6月10日（火）の第3試合、明治神宮野球場において札幌学生野球連盟代表の道都大学と対戦しましたが、結果は1対8で破れ、初戦敗退でした。初回の攻防が「明暗をはっきり分ける形になりましたが、リーグ戦での戦い方をそのまま全国の舞台で発揮することの難しさを痛感させられました。選手たちは全国のレベルを肌で感じ、それぞれ悔しい思いを胸に、秋に向けての再スタートを誓っています。全国大会へ出場するだけでなく、全国大会で勝てるチームになることを目標に練習をスタートさせていますので、引き続き、応援のほどよろしく願いいたします。

また、サッカー部も、中国大学サッカー選手権兼総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント大会中国地域予選大会で優勝（5年ぶり5度目）し、8月8日（金）～17日（日）までの期間、大阪のキンチョウスタジアム他で開催されます全国大会への切符を手に入れました。さらに、全日本大学サッカー選手権大会の予選を兼ねた中国大学サッカーリーグも同時進行中で、こちらも首位をキープしています。引き続き、応援のほどよろしく願いいたします。

総務部 企画・文書課

インターンシップで学んだことが、その日のうちに生きた！

インターンシップに参加した学生が素晴らしい善行で、人の命を救いました。そして、その善行は偶然の巡り合わせが引き起こした奇蹟に近い出来事でした。その素晴らしい、そして不思議ともいえる出来事を振り返ってみましょう。

経済学部3年生（現在は4年生）だった松井孝則君は、春休みを利用して深安消防署においてインターンシップの研修に参加しました。消火や救助などの訓練を受け、ちょうどその日は救急車勤務における心肺蘇生などの救急一般の訓練を受けました。そして、その日の夕方、研修現場に近い銭湯を訪れて、昼間の訓練や研修で疲れた心身を癒そうと湯船に身を横たえていた、その時！目の前で一緒に湯船に浸かっていたお年寄りが湯面に沈んでいきました。一瞬、様子を見ていても浮かんでこないため、急いで引き上げて横たえ、昼間習った心肺蘇生の応急処置で、飲み込んだお湯を吐き出させるとともに、これも訓練通りに体全体を暖めながら脇の下など要所を冷やす適切な処置を施したおかげで、お年寄りは息を吹き返し意識を取り戻しました。緊急連絡しておいた救急車が到着した時には、この85歳になるおじいさんはすっかり元気になっていましたが、駆け付けた救急車の隊長は、何と昼間、松井君に救命講習を教えた指導教官その人だったというハッピーエンドなお話です。

インターンシップで学んだことは、普通は将来何かの役に立つだろうと考えるべきものですが、今回の松井君の例のようにその日のうちに役立つものとは・・・正直驚きました。インターンシップに限らず、何かを学んで身につけておくことは何かに役立つものだと、今回の実例は証明しています。

消防署では救命講習を受けることができるそうですから、受講してみることをお勧めします。

『備えあれば、憂い無し』。いや、『備えあれば、幸（さち）有り』というエピソードでした。

キャリア形成支援委員長 布施 守雄



連携協定締結式



シンポジウム

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会 組織委員会との連携協定締結！

6月23日（月）、学校法人福山大学（福山大学・福山平成大学）は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と大学連携協定を締結しました。式典には、森喜朗組織委員会会長をはじめ、川淵三郎首都大学東京理事長や豪華なアスリート陣が集結し、学校法人福山大学からは清水厚實理事長が出席されました。今回、連携協定を締結した大学は552校で、東京2020オリンピック・パラリンピック招致における連携大学は86大学でしたので、実に6倍以上の大学が連携したことになります。すべての都道府県に連携大学が置かれることにより、地域の拠点として機能することが期待されています。開催都市を獲得した時と同様、オールジャパン態勢でオリンピック・パラリンピックを推進していくことになります。

組織委員会が大学連携に期待する主な活動は、①オリンピック教育の推進（大学におけるオリンピック講座の開講、地元の小・中・高等学校等におけるオリンピック教育支援等）、②グローバル人材育成（地域の歴史文化・観光スポット等の海外発信、海外大学との交流、語学教育等）、③パラリンピックの理解促進（競技体験等の実施、障害者スポーツ大会等における運営支援等）、④広報活動（学園祭・体育祭等の学内イベントにおける広報活動、地元行事や祭等における地域拠点としての広報活動、同窓会における広報活動等）、⑤イベント開催（シンポジウムやスポーツ教室の開催、連携大学同士による共同イベント）などです。一過性に終わらず、2020年東京大会開催後もレガシー（遺産）として残るものを期待しています。長野オリンピック以降、今もレガシーとなっている活動事例は、長野市の学校が1つの国を対象とし、対象国の文化を学び応援する“一国一校運動”です。

オリンピック史上、過去に例のない大規模な取り組みが、福山大学において始まります。さらに、福山大学では招致活動と同様に、広島における拠点として積極的に地域貢献を行っていききたいと思います。

経済学科 准教授 相原 正道

第14回福山大学生命工学部公開授業が始まりました！

生命工学部では、ビジネス交流会：福山未来（福山バイオビジネス交流会）との共催で、今年も14回目の公開授業を行います。今回は全体テーマを「ヒラメキは食から」と題し、「食に関わる身近な科学」を本学部独自の切り口からアプローチした講義と実験を企画しています。生命工学部の教育・研究が我々の身近な生活に密接に関係していることを知ってもらい、これからの社会に対して大きな可能性をも提供する学術分野であることを理解してもらいたいというのが、今回の大きな目的です。第1回は、6月14日（土）に学校法人福山大学宮地茂記念館において、市民フォーラムとの共催で行われました。サブタイトルとして「食と健康の科学」と題し、生命栄養科学科の栗田寛子助手による「身近な調理の科学」と同学科の山本英二教授による「食と健康に役立つ結晶の科学」と題した講演が行われました。両講師とも私たちが普段何気なく口にしている食品について、その作り方や調理の仕方が実は科学的に大きな裏付けがあることを、豊富な実例とともにわかりやすく解説され、講義を受けた皆さんもかなり熱心に聞き入っていました。参加人数も100名を超え、かなりの盛況の内に終わることができました。第2回も、6月28日（土）に備後地域地場産業振興センターにおいて、生物工学科の杉原千紗助手による『「福山バラの酵母」で地域発のパン作り！』と、海洋生物科学科の有瀬真人教授による「魚に我慢してもらう方法～悩み多き飼育屋の失敗と工夫～」という題で講演が行われました。第3回は、7月28日（土）に福山大学において、公開実験を行います。今年度も一般とキッズの垣根を取り払い、人気の高い米粉パン作りをはじめとして6テーマを用意しています。また、この事業の一部は公益財団法人マツダ財団の第30回マツダ事業助成に採択され、その支援を受けています。参加費はすべて無料ですので、是非ご来場ください。



詳しくは、学部のホームページ (<http://www.fukuyama-u.ac.jp/life/>) に掲載しています。
海洋生物科学科 教授 高村 克美

平成26年度 福山大学教育懇談会について

福山大学では、開学以来毎年、教育懇談会を開催しています。
この「教育懇談会」では、保証人の皆様に本学の教育理念及び指導方針、学生生活や就職についての説明を行う全体説明と、ご子供の学業成績及び履修・出席状況等の説明や保証人の皆様のあらゆるご相談・ご質問に応じる個別相談を行っています。
また、福山大学会場では、保証人の皆様を対象に就職講演会を実施する予定です。
さらに、今年度は新しく8月30日（土）に「那覇会場」、8月31日（日）に「東京会場」を開設いたしました。他の会場ともども、是非、この機会にご参加いただければ幸いです。
なお、詳細は、7月中旬に送付いたします。「教育懇談会の開催について（ご案内）」をご覧ください。

学務部 教務課

開催日	開催地	会場名	対象学部
8月23日（土）	広島	広島ガーデンパレス	全学部
8月23日（土）	山口	山口グランドホテル	全学部
8月23日（土）	松山	ホテルサンルート松山	全学部
8月30日（土）	姫路	ホテル姫路プラザ	全学部
8月30日（土）	那覇	ホテルサンパレス球陽館	全学部
8月30日（土）	高知	高知共済会館コミュニティスクエア	全学部
8月30日（土）	鳥取	白兎会館	全学部
8月30日（土）	福岡	福岡ガーデンパレス	全学部
8月30日（土）	名古屋	名古屋ガーデンパレス	全学部
8月31日（日）	高松	高松東急イン	全学部
8月31日（日）	松江	松江東急イン	全学部
8月31日（日）	鹿児島	ブルーウェーブイン鹿児島	全学部
8月31日（日）	東京	東京ガーデンパレス	全学部
8月31日（日）	岡山	ビュアリティまきび	全学部
8月31日（日）	大阪	大阪ガーデンパレス	全学部
9月13日（土）	福山	福山大学	経済学部（1・2年次生） 人間文化学部 工学部 薬学部（学生番号：奇数） 経済学部（3・4年次生） 生命工学部 薬学部（学生番号：偶数）
※都合の悪い場合は、どちらに出席しても構いません。			
9月14日（日）	福山	福山大学	
※都合の悪い場合は、どちらに出席しても構いません。			

平成26年度 福山大学学生表彰について

6月28日（水）、大会館にて平成26年度福山大学学生表彰（在学生）の表彰式が行われました。
今回は、学業部門33名が表彰（奨励賞）されました。受賞者は、下記のとおりです。表彰式では、松田文子学長からの挨拶に続いて、受賞者を代表して生命工学部生命栄養科学科3年の神波景子さんが、受賞の喜びと御礼の言葉を述べました。
受賞された皆さん、おめでとうございました。

学務部 学生課

奨励賞 【学業部門】							
学部	学科	学年	氏名				
経済学部	国際経済学科	2年	植木 理歩	生命工学部	建築・建設学科	3年	平山 真文
	経済学科	3年	高橋 未佳		情報工学科	3年	奥田 宏平
	国際経済学科	3年	郭 月		機械システム工学科	3年	中野 武夫
	税務会計学科	3年	塩飽 昌宏		建築・建設学科	4年	守安 正裕
	経済学科	4年	上田 哲也		情報工学科	4年	夜船 弘佳
	国際経済学科	4年	平田 光典		生物工学科	2年	平島 宗一郎
	税務会計学科	4年	青滝 久見子		生命栄養科学科	2年	田島 幸司
	人間文化学科	2年	玉井 恵子		海洋生物科学科	2年	中野 菜優子
	心理学科	2年	藤田 志織		生物工学科	3年	稲森 千章
	メディア情報文化学科	2年	柴田 翔也		生命栄養科学科	3年	神波 景子
人間文化学部	人間文化学科	3年	村上 菜	薬学部	海洋生物科学科	3年	佐藤 れんり
	心理学科	3年	皿田 遥		生物工学科	4年	久保田 匡博
	メディア情報文化学科	3年	橋本 紗耶加		生命栄養科学科	4年	有木 祥子
	人間文化学科	4年	和田 彩加		海洋生物科学科	4年	和田 健太
工学部	情報工学科	2年	平上 尚紀		薬学科	2年	今村 百花
					薬学科	3年	野村 彰一
					薬学科	4年	落合 博之
					薬学科	5年	藤脇 孝哉



第6回「友だちにすすめたい本」コンクール
表彰式

第7回「友だちにすすめたい本」コンクール

人間文化学部
人間文化学科

人間文化学科が、平成20年度より開催している「友だちにすすめたい本」コンクールも、今年で7回目を迎えます。

近隣の高校をはじめとして他県の高校からも応募があり、着実にこの企画が根付いてきているようです。これも応援していただいている高校の先生方のご協力があればこそで、この場を借りて感謝の意を表するとともに、さらなるご支援をよろしくお願いいたします。

今年も、友だちが是非その本を手にとって読みたいくなるような熱い感動を伝えてくれる力作を期待しています。奮ってご応募ください。

人間文化学科 教授 西田 正

コンクールの概要

- 本の対象：小説、エッセー、童話、詩などジャンルを問いません。
- 応募資格：高校生
- 応募方法：所定の原稿用紙に500字以内（人間文化学科HP（<http://www.fuhc.fukuyama-u.ac.jp/human/hc/>）からダウンロードできます）
- 審査委員：丹藤浩二（福山大学教授、審査委員長）、青木美保（福山大学教授、福山大学図書館長）、岩崎文人（ふくやま文学館館長、広島大学名誉教授）、光原百合（作家、尾道市立大学教授）
- 表彰：最優秀賞1篇 賞状・トロフィー・副賞
優秀賞3篇 賞状・副賞
佳作賞10編 賞状・副賞
- 発表：在籍校を通じて本人宛に通知し、平成27年2月下旬（予定）に表彰式を行ないます。

- 応募期間：平成26年7月1日（火）から9月13日（土）まで（消印有効）
- 応募先：※メール添付にて応募される場合
tomodachi@fuhc.fukuyama-u.ac.jp
※CD-R（原稿データ）もしくは紙原稿にて郵送される場合
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
福山大学人間文化学部人間文化学科
「友だちにすすめたい本」コンクール係
- お問合せ：脇 忠幸（福山大学講師）
084-936-2112（内線3239）
人間文化学部事務局 084-936-2112（内線2223）

第9回(2014年度) 高校生CMコンテスト作品募集

人間文化学部
メディア情報文化学科

メディア情報文化学科では、映像メディアに対する高校生の豊かな感性を開花させ、その才能を支援することを目的として「第9回(2014年度) 高校生CMコンテスト」を開催します。

今年のテーマは「あなたの『まち』を、全国にアピールしよう!」です。地域の魅力で人をひきつけ、そのまちに行きたくするようなCMを考えてもらいます。

ビデオで撮影・編集した作品を応募する「映像作品の部」は、授業や部活などにおける表現活動の成果を示す好機になるでしょう。絵コンテに企画をまとめる「企画コンテの部」や、地域の魅力を短いフレーズに凝縮する「広告コピーの部」は、映像制作の設備を持っていない学校でも気軽に参加できる部門です。昨年は、合計524作と過去最多の作品が集まりました。今年はあらたに、地域の魅力を1枚の写真で伝える「写真作品の部」を設けます。昨年を超えるような新しい才能をお待ちしております。

詳しくは、WEBサイトをご覧ください。 <http://www.fukuyama-media.jp/>

また、学科のブログでもコンテストに関する情報を、随時発信していきます。審査には、山崎誠氏（株式会社OHK エンタープライズ）、田中聡登氏（映像クリエイター、福山大学非常勤講師）ら、プロフェッショナルの映像・CMクリエイターをお招きします。そして、三蔵祭の期間中には、受賞作品の上映・展示と表彰を予定しています。どうぞご期待ください。

お問い合わせは、人間文化学部事務局

TEL.084-936-2112（内線2223）もしくは、info@fukuyama-media.jp まで。

メディア情報文化学科 准教授 安田 暁



第8回(2013年度) 高校生CMコンテスト
受賞式



昨年の実技審査の様子



第3回最優秀賞
『夏いっぱいナス天井&ねばねばちゃん』

第4回 高校生アイデアどんぶり選手権

生命工学部
生命栄養科学科

生命栄養科学科では、第4回目となる「高校生アイデアどんぶり選手権」を開催します。高校生が食と健康に関心を持ち、自分たちの住んでいる地域の様々な食材を使って「楽しく」「美味しく」料理作りをすることを応援します。

第一次審査はレシピと写真による書類審査、第二次審査は実技審査（8月7日（木））です。第二次審査に勝った8名は、生命栄養科学科の調理学実習室においてアイデアどんぶりを含む計2品の調理を行います。昨年は、138件の応募の中から「夏いっぱいナス天井&ねばねばちゃん」が最優秀賞に選ばれました。入賞作品の一部は、第一食堂で期間限定メニューとして登場する予定です。「第4回高校生アイデアどんぶり選手権」の詳細は、生命栄養科学科のホームページをご覧ください。

<http://www.fukuyama-u.ac.jp/nutritional-sci/>

生命栄養科学科 准教授 石井 香代子

学友会短信

【サッカー部】●4月20日～11月9日 2014年度中国大学サッカーリーグ出場●5月10日～25日 2014年度第38回中国大学サッカー選手権兼総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント大会中国地域予選大会優勝、2014年度第38回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント大会出場権獲得●6月15日～29日 2014年度全広島サッカー選手権大会決勝大会出場 【硬式野球部】●4月5日～5月11日 平成26年度中国六大学野球春季リーグ戦優勝 最高殊勲選手賞：山本翔太郎（経済学科4年）投手、ベストナイン：桑木拓磨（経済学科3年）投手、荒本凌也（経済学科3年）1塁手、木村真登（経済学科4年）2塁手、安田翔（経済学科2年）遊撃手●6月10日～15日 第63回全日本大学野球選手権大会出場●6月27日～29日 第28回中国地区大学野球新人戦出場 【陸上競技部】●4月19日～20日 第98回日本陸上競技選手権大会50km競歩挑戦出場 清家将徳（経済学科3年）●5月16日 第68回中国四国学生陸上競技対校選手権大会出場 10000m第3位 中村祐希（経済学科3年）●6月7日 第47回広島県学生陸上競技選手権大会出場 【剣道部】●5月18日 第61回中国四国学生剣道選手権大会出場●5月24日～25日 第59回西日本学生剣道大会出場 男子ベスト16 【卓球部】●5月15日～18日 第65回中国学生卓球選手権春季大会出場 【柔道部】●5月17日 平成26年度中国四国学生柔道優勝大会出場●5月24日 第46回全日本ジュニア柔道体重別選手権大会出場 【弓道部】●4月26日～27日 第47回中国学生弓道競技大会出場●5月18日 福山ばら祭協賛 第35回福山市近県弓道大会出場●5月24日～25日 第58回西日本学生弓道選手権大会出場●6月22日 第38回広島県学生弓道親善試合主管・出場 【バスケットボール部】●4月12日～7月28日 2014年度広島県学生バスケットボール交流戦春季リーグ戦出場 【ゴルフ部】●4月22日～23日 平成26年度中国四国学生ゴルフ春季1部校対抗戦出場●6月11日 第38回中国四国学生ゴルフ選手権予選大会出場 【硬式庭球部】●5月17日～21日 平成26年度春季中国四国学生テニス選手権大会出場 【ラグビー部】●6月22日 第30回天野杯7人制ラグビー大会出場 【ソフトテニス部】●4月29日～5月3日 第36回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会・第57回中国学生ソフトテニス優勝大会・第16回中国学生ソフトテニスシングルス選手権大会出場 【男子バレーボール部】●5月10日～11日 平成26年度第79回中国大学バレーボール春季リーグ戦出場 【スポーツ雪合戦同好会】●5月11日 スポーツ雪合戦教室（福山市立金江小学校）●5月31日 旭オープン雪合戦大会出場●6月21日 スポーツ雪合戦教室（福山市立精華中学校） 【YRC（ボランティア）部】●5月5日 キッズミュージックフェスティバル in Fukuyama参加●5月17日～18日 第47回福山ばら祭2014参加（びよっこ広場出店）●定期清掃活動クリーンウォーキングJR松永駅・JR福山駅・芦田川（月3回） 【海洋生物研究会】●6月15日 第5回フィッシング大会 学友会執行部と共催 【管弦楽団】●4月3日 入学式の国歌・大学歌の演奏●4月19日 薬学部白衣授与式のBGM演奏 【モノづくり倶楽部】●5月18日 福山ばら祭協賛（霞本通「霞へきてみん祭」）イベント参加 【学友会執行部】●5月15日 春季学長杯争奪競技大会主催●5月21日 学内・春季献血活動（献血受付79名）●6月10日 第63回全日本大学野球選手権大会出場における硬式野球部応援（学友会、チアダンス、吹奏楽部、一般学生等）●6月15日 第5回フィッシング大会主催●学友会サークル新規承認について（平成26年4月25日付学生委員会承認）箏曲部（同好会）顧問：人間文化学科 教授 青木美保、シルクハット magic & juggle（同好会）顧問：心理学科 教授 青野篤子



学務部 学生課

学友会 春季学長杯争奪競技大会 (FUS)

開学記念日（5月15日（木））に、恒例の春季学長杯争奪競技大会が開催され、学生及び教職員合わせて約300名が参加しました。当日は、天候には恵まれませんでした、野球場でのソフトボール、体育館でのバスケットボールで白熱した試合が行われました。参加者は、怪我や事故等なく一日爽やかな汗を流し、親睦を深めることができました。

次回の秋季学長杯争奪競技大会にも、たくさんの方々の参加をお待ちしております。

学友会 生命栄養科学科 2年 岡田 健太郎

学友会 第5回フィッシング大会

学友会執行部及び海洋生物研究会主催「第5回福山大学フィッシング大会」が、6月15日（日）に因島で開催されました。今回は、学生及び教職員35名が参加し、本学附属の内海生物資源研究所（マリンバイオセンター）での見学後、瀬戸内海の手前で親睦を深めながら、それぞれの釣りの腕を競いました。大漁ではなかったものの、参加者はタイ、キス、ハゼなどを釣り上げていました。また、魚にポイントをつける方式で、入賞者上位3名と特別賞を決定しました。大会終了後は感謝の気持ちを込め、全員で浜辺の清掃を行い、怪我なく無事に大会を終えました。このような大会を開催できたのも、海洋生物研究会顧問の水上雅晴講師や学生課職員の皆様など、多くの方々のご協力あつたことと思います。これからも様々な楽しい行事を企画・実行していこうと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

学友会 海洋生物科学科 2年 熊谷 直樹



学友会「文化創造プロジェクト 文創祭 ～輝け!!未来のクリエイター～」

8月7日（木）、学校法人福山大学宮地茂記念館において「文化創造プロジェクト 文創祭 ～輝け!!未来のクリエイター～」を開催いたします。このプロジェクトは、学友会文化系クラブ・サークルや学部・学科の活動紹介を目的として、地域住民の方々や小・中・高・大学生へ向けて福山大学の活動や情報を発信していく学友会の企画です。今年度も、様々な演舞・演奏、体験、展示などを実施していく予定です。この文創祭を通して、福山市民をはじめとするたくさんの方々と交流をしていきたいと思っておりますので、是非ご参加ください。

学友会 海洋生物科学科 3年 川又 佑哉

◆平成25年度(公財)ひろしま国際センター奨学生に、王恵さん(経済学研究科/1年/中国出身)ら5名(学部生1名、大学院生4名)の採用決定。(2013年6月20日)

◆国際センター留学生部運営委員会が、平成25年度新入奨学生、編入学生及び交換留学生のために広島地域視察ツアーを開催。30名の留学生が、李森国際センター留学生部長とともに原爆資料館や宮島を視察。



(6月22日)

◆額日敦布和さん(国際経済学科/4年/中国・内モンゴル出身)が、東校区人権啓発推進協議会で内モンゴルの紹介。



(6月27日)

◆(公財)ひろしま国際センターの平成25年度奨学生授与式及び交流会に、李森国際センター留学生部長とともに胡曉青さん(経済学研究科/1年/中国出身)ら5名の奨学生が出席。(7月9日)

◆安部淳一さん(国際経済学科/3年)が、母校の福山市立常小小学校でアメリカ留学の体験談講話及びライブを実施指導。(7月10日)

◆夏期集中語学研修の参加学生が、出発前に学長室で決意表明。



(7月9日)

◆中国・山西師範大学から、楊志中監査課長ら24名が来学。渡辺伸一講師(海洋生物科学科)の講演Life in the Seto Inland Sea後、生命工学部を見学し、フーズ・カフェにて学術交流。



(8月2日)

◆黒坂志徳講師(福山平成大/健康スポーツ科学科)引率の下、黒瀬有香さん(薬学科/3年)ら11名(福山平成大学生5名含む)が本学協定校の米国・カリフォルニア大学リバーサイド校で英語研修。



(8月4日～9月7日)

◆李森国際センター留学生部長引率の下、高橋駿介さん(海洋生物科学科/3年)ら5名が、本学協定校の中国・對外経済貿易大学で中国語研修。



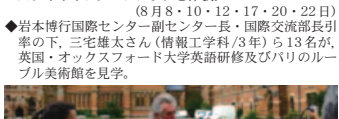
(8月4日～25日)

◆ヨトワ・マリア・ヨトワさん(メディア情報文化学科/ブルガリア出身)ら2名の交換留学生が帰国挨拶のため、松田文子学長及び富士彰夫副学長・国際センター長を訪問。



(8月8日)

◆広島県留学生活躍支援センター主催、平成25年度就活日本語研修に、日本企業が求める日本語能力を向上させるため、幸引蘭さん(税務会計学科/3年/中国出身)ら5名の留学生が参加。研修終了後、希望者はホームステイやインターンシップを体験。



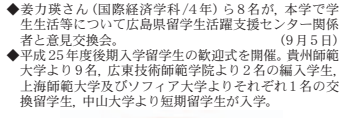
(8月8・10・12・17・20・22日)

◆岩本博行国際センター副センター長・国際交流部長引率の下、三宅雄太さん(情報工学科/3年)ら13名が、英国・オックスフォード大学英語研修及びバリのルーブル美術館を見学。



(8月11日～25日)

◆広島県留学生活躍支援センター主催、平成25年度留学生のための合同進学説明会、服部進教授(情報工学科)ら3名の教員及び博興さん(建築・建設学科/4年/中国出身)ら3名が出席。(8月31日・9月11日)



(9月5日)

◆姜力煥さん(国際経済学科/4年)ら8名が、本学で学生生活等について広島県留学生活躍支援センター関係者と意見交換会。



(9月19日)

◆福山ブルガリア協会主催、ソフィア大学交換留学生奨励会に、岡田瑞奈さん(国際経済学科/3年)ら5名が富士彰夫副学長・国際センター長ら2名の教員と出席。



(9月24日)

◆本学協定校のブルガリア・ソフィア大学に、松丸晋士さん(経済学科/2年)ら5名を、第1期の交換留学生として派遣。



(10月1日)

◆国際センター国際交流部運営委員会主催、第11回(2013年度)広島県高校生英語スピーチコンテストを開催。11校16名が参加。大賞受賞者は、広島県立三次高等学校2年山田泰保さん。演題は、Follow the whisper in your heart. 副賞として、本学協定校の米国・カリフォルニア大学リバーサイド校より平成26年度夏季コースの授業料等を授与。



(10月10日)

◆国際センター留学生部運営委員会、留学生会、福山大学孔子学院主催で、第4回日中中学生交流クイズ大会を開催。

◆国際センター国際交流部運営委員会主催、第20回日本語・英語スピーチコンテスト～秋の英語祭り2013～を開催。日本語の部では、張迪さん(人間科学研究所/2年/中国出身)が最優秀賞を受賞。演題は平和の和。英語の部では、Buenafe Marthy Punoさん(人間文化学科/3年/フィリピン出身)が最優秀賞を受賞。演題は"Inseparable" Smartphone addiction.



(10月20日)

◆平成25年度語学研修・留学報告会及び平成26年度留学募集説明会を実施。



(10月21日)

◆(公財)熊平奨学文化財団の交流会に、奨学生の黄勉さん(税務会計学科/4年/中国出身)ら3名が、李森国際センター留学生部長と出席。(10月22日)

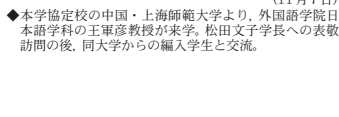
◆広島県留学生活躍支援センター主催、就職活動実践セミナーに、王桃さん(国際経済学科/3年/中国出身)ら2名が参加。(11月4・16日)

◆王農さん(人間科学研究科/1年/中国出身)ら2名が、神石高原町立神石小学校で母国の紹介。



(11月7日)

◆本学協定校の中国・上海師範大学より、外国語学院日本語学科の王華彦教授が来学。松田文子学長への表敬訪問の後、同大学からの編入学生と交流。



(11月12日)



(11月12日)

◆国際センター留学生部運営委員会主催、趙建紅国際センター留学生部副部長引率の下、備北丘陵公園・帝釈峡ツアーに学生32名が参加。小雨の中、日本の紅葉を堪能。



(11月17日)

◆本学協定校の中国・對外経済貿易大学から、劉麗副学長ら5名が松田文子学長を表敬訪問し、富士彰夫副学長・国際センター長とともに懇談。



(11月18日)

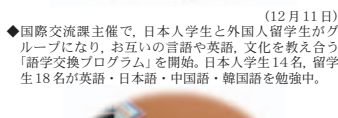
◆ひろしま国際センター第2回奨学生交流会に、秦師さん(経済学研究科/1年/中国出身)ら5名が参加。

◆再麗さん(国際経済学科/4年/中国出身)ら2名が、神石高原町立三小小学校で母国の紹介等で国際交流。



(12月11日)

◆国際交流課主催で、日本人学生と外国人留学生在がグループになり、お互いの言語や英語、文化を教え合う「語学交換プログラム」を開始。日本人学生14名、留学生18名が英語・日本語・中国語・韓国語を勉強中。



(12月11日)

◆国際センター国際交流部運営委員会主催、第11回(2013年度)広島県高校生英語スピーチコンテストを開催。11校16名が参加。大賞受賞者は、広島県立三次高等学校2年山田泰保さん。演題は、Follow the whisper in your heart. 副賞として、本学協定校の米国・カリフォルニア大学リバーサイド校より平成26年度夏季コースの授業料等を授与。



(2014年1月10日)

◆趙思豪さん(人間文化学科/交換留学生/中国出身)が、松永ライオンズクラブで流暢な日本語でスピーチ。



(1月23日)

◆平成26年度(公財)ロータリー米山記念奨学生に、鄭亜楠さん(人間文化学科/3年/中国出身)が採用決定。

◆額日敦布和さん(国際経済学科/4年/中国・内モンゴル出身)が、福山市立新進小学校で遊牧民の文化や生活習慣について講義。馬頭琴も奏でる。



(1月29日)

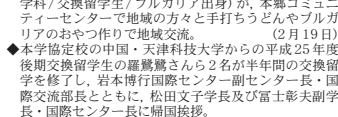
◆董志遠さん(機械システム工学科/4年/中国出身)ら8名が、尾道高等学校で修学旅行の事前学習として中国語の授業。



(2月17日)

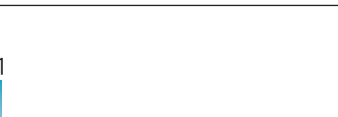
◆アンゲロヴァ・エルカ・アントノヴァさん(人間文化学科/交換留学生/ブルガリア出身)が、本郷コミュニティセンターで地域の方々と手打ちうどんやブルガリアのおやつ作りで地域交流。

◆本学協定校の中国・天津科技大学からの平成25年度後期交換留学生の羅麗麗さんら2名が半年間の交換留学を終了し、岩本博行国際センター副センター長・国際交流部長とともに、松田文子学長及び富士彰夫副学長・国際センター長に帰国挨拶。



(2月19日)

◆日中友好広島県議員連盟主催による講演会・交流会に、唐香香さん(メディア情報文化学科/1年/中国出身)ら2名が出席。



(2月25日)



(2月25日)

◆日中友好広島県議員連盟主催による講演会・交流会に、唐香香さん(メディア情報文化学科/1年/中国出身)ら2名が出席。



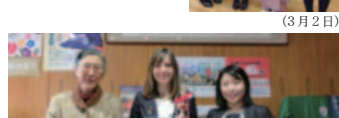
(2月27日)

◆外国人留学生を支援する会主催の「外国人留学生による日本語スピーチコンテスト」に、本学留学生が3名出席し、アンゲロヴァ・エルカ・アントノヴァさん(人間文化学科/交換留学生/ブルガリア出身)が、「住みやすい日本」のスピーチで最優秀賞を受賞。本学の最優秀賞受賞は、3年連続。趙建紅国際センター留学生部副部長とトロフィーを持って、松田文子学長に報告。



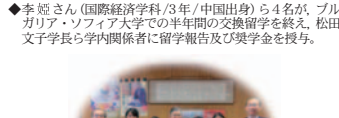
(3月2日)

◆李麗さん(国際経済学科/3年/中国出身)ら4名が、ブルガリア・ソフィア大学での半年間の交換留学を終え、松田文子学長ら学内関係者に留学報告及び奨学金を授与。



(3月7日)

◆李麗さん(国際経済学科/3年/中国出身)ら4名が、ブルガリア・ソフィア大学での半年間の交換留学を終え、松田文子学長ら学内関係者に留学報告及び奨学金を授与。



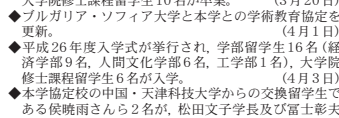
(3月17日)

◆平成25年度学位記授与式が挙行政され、学部留学生49名(経済学部31名、人間文化学部11名、工学部7名)、大学院修士課程留学生10名が卒業。(3月20日)

◆ブルガリア・ソフィア大学と本学との学術教育協定を更新。(4月1日)

◆平成26年度入学式が挙行政され、学部留学生16名(経済学部9名、人間文化学部6名、工学部1名)、大学院修士課程留学生6名が入学。(4月3日)

◆本学協定校の中国・天津科技大学からの交換留学生である侯曉雨さんら2名が、松田文子学長及び富士彰夫副学長・国際センター長を表敬訪問。2名は、経済学科で半年間勉学に励む。



(4月4日)

◆本学協定校の中国・広東技術師範学院より王秉夫院長ら4名の使節団が来学され、今後の交流について意見交換。

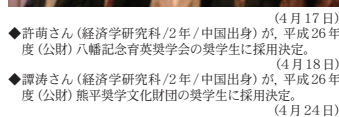


(4月17日)

◆許萌さん(経済学研究科/2年/中国出身)が、平成26年度(公財)八幡記念育英奨学会の奨学生に採用決定。

◆譚涛さん(経済学研究科/2年/中国出身)が、平成26年度(公財)熊平奨学文化財団の奨学生に採用決定。

◆福山大学留学生会主催、「留学生新入生歓迎会」をMで開催。日本人学生を含めた在学学生と教員と交流。



(5月2日)

◆(公財)熊平奨学文化財団奨学生の譚涛さんが、李森国際センター留学生部長とともに交流会へ出席。



(5月26日)

学内人事

【名誉教授称号授与】

前 経済学部 教授 掛江 正造
前 薬学部 教授 澁谷 博孝
前 薬学部 教授 廣瀬 順造
(以上4月1日付)

【役職関係】

◎就 任

学長補佐 鶴田 泰人
学長補佐 山本 覚
人間科学研究科長 橋本 優花里
人間文化学部長補佐 田中 始男
生命工学部長補佐 満谷 淳
税務会計学科長 許 霽
人間文化学科長 原 千史
スマートシステム学科長 香川 直己
建築学科長 大島 秀明
生物工学科長 久富 泰資
全学自己点検評価委員会委員長 松田 文子
全学自己点検評価委員会副委員長 松浦 史登
全学自己点検評価委員会副委員長 山本 覚
全学自己点検評価委員会 評価小委員会委員長 松田 文子
自己点検評価実施小委員会委員長 山本 覚
点検評価項目策定小委員会委員長 森田 哲生
附属図書館長 青木 美保
附属図書館分館長 田村 豊
大学教育センター長 鶴田 泰人
大学教育センター副センター長 大塚 豊
大学教育センター副センター長 平 伸二
共同利用センター長 松浦 史登
共同利用センター副センター長 鶴崎 健一
共同利用センター副センター長 筒本 和広
資格取得支援センター長 満谷 淳
R Iセンター長 小嶋 英二郎
安全安心防災教育研究センター長 松田 文子
安全安心防災教育研究センター副センター長 宮内 克之
安全安心防災教育研究センター副センター長 グリーンサイエンス研究センター副センター長 香川 直己
保健管理センター長 大橋 一慶
キャリア形成支援委員会副委員長 赤木 收二
教務委員会委員長 足立 浩一
学芸員養成課程委員会委員長 坂口 勝次
学生委員会副委員長 河原 栄二郎
入試委員会副委員長 石丸 敬二
入試委員会副委員長 水上 優
大学入試センター試験実施委員会副委員長 田淵 紀彦
広報委員会委員長 中東 潤
広報委員会副委員長 安田 暁
ハラスメント対応委員会委員長 日下部 典子
ハラスメント対応委員会副委員長 原口 博行
(以上4月1日付)

◎退 任

人間文化学部長補佐 青木 美保
生命工学部長補佐 山本 覚
税務会計学科長 桑原 哲也
人間文化学科長 青木 美保
電子・ロボット工学科長 香川 直己
建築・建設学科長 大島 秀明
生物工学科長 山本 覚
大学教育センター長 松浦 史登
大学教育センター副センター長 鶴田 泰人
大学教育センター副センター長 山本 覚
大学教育センター副センター長 河原 栄二郎
大学教育センター副センター長 布施 守雄
大学教育センター副センター長 菊田 安至
情報処理教育センター長 筒本 和広
情報処理教育センター副センター長 内垣 戸貴之
構造・材料開発研究センター長 宮内 克之
キャリア形成支援委員会副委員長 中村 博
教務委員会委員長 鶴田 泰人

教務委員会副委員長 坂口 勝次
学生委員会副委員長 鶴崎 健一
入試委員会委員長補佐 平 伸二
入試委員会副委員長 筒本 和広
大学入試センター試験実施委員会副委員長 原 千史
自己評価委員会委員長 栗延 俊太郎
自己評価委員会副委員長 森田 哲生
広報委員会委員長 田村 豊
広報委員会副委員長 中東 潤
ハラスメント対応委員会副委員長 日下部 典子
全学共通設備・機器等管理委員会委員長 松浦 史登
全学共通設備・機器等管理委員会副委員長 町支 臣成
(以上3月31日付)

【教 員】

◎定年退職

経済学部 准教授 上 迫 明
薬学部 教授 金尾 義治
(以上3月31日付)

◎辞 職

経済学部 准教授 藤井 隆雄
経済学部 准教授 古市 雄一朗
人間文化学部 教授 堤 俊彦
人間文化学部 教授 川地 洋一
生命工学部 教授 渡邊 誠
生命工学部 准教授 平松 智子
生命工学部 助手 宮尾 夕子
薬学部 教授 澁谷 博孝
(以上3月31日付)

◎再雇用期間満了

経済学部 教授 掛江 正造
薬学部 教授 廣瀬 順造
(以上3月31日付)

◎任期満了

人間文化学部 教授 位 藤 邦生
人間文化学部 教授 田中 久男
大学教育センター 教授 荒木 紀幸
(以上3月31日付)

◎昇 任

経済学部 教授 三 川 敦
経済学部 准教授 日 野 恵美子
人間文化学部 教授 日 下 部 典子
人間文化学部 准教授 安 田 暁
人間文化学部 講師 阿 部 純
生命工学部 准教授 佐 藤 淳
生命工学部 准教授 渡 辺 伸一
生命工学部 講師 水 上 雅晴
(兼) 内海生物資源研究所 講師
薬学部 教授 小嶋 英二郎
薬学部 准教授 田淵 紀彦
(以上4月1日付)

◎配置換(助手→助教)

薬学部 助教 前原 昭次
(4月1日付)

◎配置換

人間文化学部 教授 千 葉 利晃
共同利用センター 講師 瀬 島 紀夫
(以上4月1日付)

◎兼 任

(兼) 大学教育センター 教授 河 原 栄二郎
(兼) 共同利用センター 教授 千 葉 利晃
(兼) 共同利用センター 准教授 上 迫 明
(兼) 共同利用センター 准教授 鶴崎 健一
(兼) 共同利用センター 助教 酒 井 要
(兼) 共同利用センター 助教 片 桐 重和
(兼) 共同利用センター 助教 中 村 雅樹
(兼) 安全安心防災教育研究センター 教授 宮 内 克之
(兼) 安全安心防災教育研究センター 教授 香 川 直己
(兼) 安全安心防災教育研究センター 准教授 田 中 聡
(兼) 安全安心防災教育研究センター 准教授 中 道 上

(兼) 安全安心防災教育研究センター 准教授 中 東 潤
(兼) 安全安心防災教育研究センター 講師 山 田 明
(兼) 安全安心防災教育研究センター 講師 小 林 正明
(兼) 安全安心防災教育研究センター 助教 中 村 雅樹
(以上4月1日付)

◎免兼任

(兼) 大学教育センター 准教授 野 寺 綾
(兼) 内海生物資源研究所 教授 満 谷 淳
(以上3月31日付)

◎採 用

経済学部 教授 早 川 達二
経済学部 教授 中 澤 孝夫
経済学部 准教授 張 楓
人間文化学部 教授 赤 澤 淳子
人間文化学部 講師 山 東 資子
人間文化学部 講師 藤 居 尚子
人間文化学部 助手 皿 谷 陽子
工学部 教授 都 祭 弘幸
工学部 教授 内 田 博志
工学部 准教授 関 田 隆一
工学部 講師 伊 澤 康一
生命工学部 教授 測 上 倫子
生命工学部 教授 赤 木 收二
生命工学部 教授 有 瀧 真人
(兼) 内海生物資源研究所 教授 吉 崎 隆之
生命工学部 助教 伊 藤 日向子
生命工学部 助手 葉 学 部 教 授 長 崎 信浩
生命工学部 助教 渡 邊 正知
大学教育センター 教授 大 塚 豊
大学教育センター 准教授 米 崎 里
大学教育センター 講師 竹 盛 浩二
大学教育センター 講師 Laura A. Kurotobi
大学教育センター 助教 前 田 吉広
(以上4月1日付)

◎再採用

経済学部 准教授 上 迫 明
薬学部 教授 金尾 義治
(以上4月1日付)

◎特任教授

薬学部 大 瀧 修
大学教育センター 川 地 洋一
(以上4月1日付)

◎客員教授

経済学部 田 中 秀征
人間文化学部 田 中 久男
工学部 横 井 一仁
生命工学部 宮 崎 信之
生命工学部 高 田 浩二
薬学部 村 上 信行
薬学部 太 刀 掛 稔
大学教育センター 荒 木 紀幸
(以上4月1日付)

◎客員教員(教授待遇)

経済学部 姚 莉萍
(4月1日付)
佐 藤 利行
(4月1日付)
尾 島 勝
(4月1日付)

◎学校法人福山大学宮地茂記念館館長

【職員】
◎定年退職
学務部長 岡 田 啓司
入試広報室参事 田 口 英久
学生課参事 五 島 健至
(以上3月31日付)

◎辞職

経済学部・人間文化学部事務長心得 杉 本 直
(3月31日付)

◎任期満了
学校法人福山大学特別参事 大 久 保 勲
学校法人福山大学秘書主管(事務嘱託員) 森 迫 哲子
学校法人福山大学総務部(事務嘱託員) 上 泰 二
(以上3月31日付)

◎再雇用期間満了

工学部・生命工学部事務部長 岡 田 進
(3月31日付)

◎昇 任

経理部長 藺 頭 里美
秘書主管 麓 勉
(兼) 秘書室長
経理部副部長 萩 原 善則
用度課長 林 孝彦
経理課長 近 藤 正之
施設課長 矢 野 幸一
庶務課長 斜 森 琢也
学務部副部長 武 田 貢一
(兼) 教務課長
経済学部・人間文化学部事務長 奥 村 健一
教務課課長補佐 池 本 大作
薬学部事務部副部長 武 田 康成
(兼) 薬学部事務長
附属図書館総務主任 大 谷 恭子
企画・文書課企画・文書主任 蔵 田 修
教務課教育企画主任 佐 久 間 基
(以上4月1日付)

◎配置換

入試広報主管 松 岡 哲衛
(兼) 入試広報室長
(兼) 学校法人福山大学入試広報室長
工学部・生命工学部事務長 徳 永 充孝
工学部・生命工学部事務係長 楠 見 宣昭
(以上4月1日付)

◎免兼務

(兼) 入試広報室長 寺 尾 信吾
(兼) 学校法人福山大学入試広報室長
(兼) 庶務課長 松 岡 哲衛
(兼) 経理課長 藺 頭 里美
(以上3月31日付)

◎採 用

学校法人福山大学参与 大 谷 巖
(兼) 福山大学参与
秘書室事務職員 坪 根 栄俊
(兼) 学校法人福山大学秘書室事務職員
入試広報室参事 宇 根 昌範
(兼) 学校法人福山大学入試広報室参事
施設課参事 小 林 厚雄
工学部・生命工学部事務職員 島 田 知枝
学生課長 宮 内 信博
附属図書館事務職員 喜 多 村 侑佳
入試広報室参事 島 田 歆二
(兼) 学校法人福山大学入試広報室参事
入試広報室参事 前 原 幸三
(兼) 学校法人福山大学入試広報室参事
学務部長 岡 田 啓司
(兼) 就職課課長
学校法人福山大学総務部(事務嘱託員) 羽 原 哲也
総務部長(事務嘱託員) 栗 栖 良光
社会連携センター事務室長(事務嘱託員) 光 波 祥二郎
(兼) 社会連携センター参事
(兼) 学校法人福山大学宮地茂記念館事務室長
(兼) 学校法人福山大学宮地茂記念館参事
(以上4月1日付)

就職課専門員

平 喜美恵
(5月1日付)

◎再採用

学生課参事 五 島 健至
(4月1日付)

平成25年度 学校法人福山大学財務状況

資金収支計算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)(単位:円)

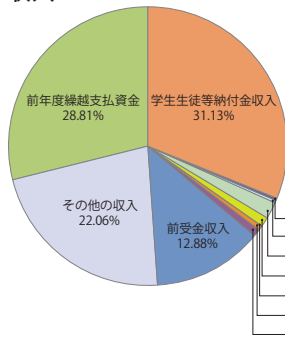
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	5,472,552,831	人件費支出	3,265,103,552
手数料収入	91,195,060	教育研究経費支出	1,909,846,412
寄付金収入	22,245,200	管理経費支出	301,107,322
補助金収入	345,378,225	借入金等利息支出	17,596,274
資産運用収入	214,877,033	借入金等返済支出	159,550,000
資産売却収入	6,051,697	施設関係支出	1,518,417,288
事業収入	56,209,000	設備関係支出	269,791,673
雑収入	163,844,953	資産運用支出	639,753,325
前受金収入	2,264,195,500	その他の支出	2,057,162,415
その他の収入	3,876,948,914	資金支出調整勘定	△ 113,467,402
資金収入調整勘定	△ 2,477,297,514	次年度繰越支払資金	5,076,420,456
前年度繰越支払資金	5,065,080,416		
収入の部合計	15,101,281,315	支出の部合計	15,101,281,315

消費収支計算書

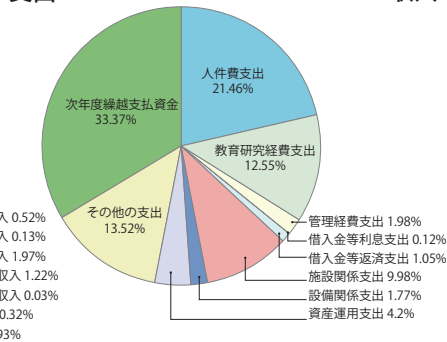
(平成25年4月1日～平成26年3月31日)(単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	5,472,552,831	人件費	3,305,525,316
手数料	91,195,060	教育研究経費	3,010,005,372
寄付金	23,848,818	管理経費	411,969,993
補助金	345,378,225	借入金等利息	17,596,274
資産運用収入	214,974,117	資産処分差額	27,809
資産売却差額	332,753		
事業収入	56,209,000		
雑収入	163,844,953		
帰属収入合計	6,368,335,757		
基本金組入額	△ 987,335,548		
消費収入の部合計	5,381,000,209	消費支出の部合計	6,745,124,764
		当年度消費収支差額	△ 1,364,124,555

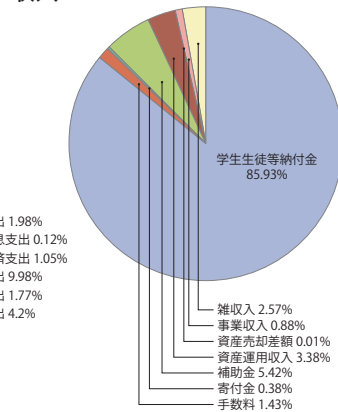
収入



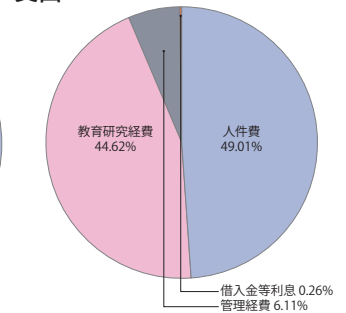
支出



収入



支出



資金収支計算書

資金収支計算書は、企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いもので、学校法人が教育研究その他の諸活動を行うことにより生ずるすべての資金収支の内容を示しています。学校法人の資金収支計算書では、前受金、未収入金、未払金、前払金を加えたもので、個々の収入金額、支出金額は必ずしも企業会計におけるキャッシュ・フローとなっていませんが、別途「資金収入調整勘定」と「資金支出調整勘定」を設けて、これら前受金等を調整することになり、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

科目説明(科目は抜粋)

収入の部(主なもの)

大科目	小科目	備考
学生生徒等納付金収入	授業料収入	各種講義料等を含む
	実験実習料収入	教員資格その他の資格を取得するための実習料を含む
手数料収入	入学検定料収入	その会計年度に実施する入学試験のために徴収する収入
	試験料収入	再試験等のために徴収する収入
	証明手数料収入	在学証明等の証明のために徴収する収入
寄付金収入	特別寄付金収入	主に研究助成を用途とした寄付金
補助金収入	国庫補助金収入	日本私立学校振興・共済事業団からの補助金を含む
資産運用収入	受取利息・配当金収入	預金利息、債券の利金
事業収入	補助活動収入	学生寮の寮費収入
	受託事業収入	受託研究料
前受金収入	授業料前受金収入	翌年度の学生生徒等にかかる学生生徒等納付金収入
	補助活動前受金収入	翌年度の学生寮の寮費収入
その他の収入	前期末未収入金収入	前会計年度における未収入金の当該会計年度における収入

支出の部(主なもの)

大科目	小科目	備考
人件費支出	教員人件費支出	教員(学長含む)に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
	職員人件費支出	教員以外の職員に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
教育研究経費支出	奨学費支出	奨学生の奨学金
施設関係支出	構築物支出	庭園等の土木設備又は工作物をいう。

消費収支計算書

消費収支計算書は、当該年度に帰属する収入から、基本金として支出した金額を控除した消費収入と人件費や教育研究経費などの消費支出を対比し、その均衡状況を示すとともに学校法人の経営状況を明らかにするものとされています。企業会計の損益計算書に近いものですが、損益計算書では計上対象とならない資本的支出が、消費収支計算書では基本金組入額として計上されている点が異なります。

科目説明(科目は抜粋)

収入の部(主なもの)

大科目	小科目	備考
学生生徒等納付金	授業料	各種講座聴講料等を含む
	実験実習料	教員資格その他の資格を取得するための実習料を含む
手数料	入学検定料	その会計年度に実施する入学試験のために徴収する収入
	試験料	再試験等のために徴収する収入
	証明手数料	在学証明等の証明のために徴収する収入
	特別寄付金	主に研究助成を用途とした寄付金
寄付金	国庫補助金	日本私立学校振興・共済事業団からの補助金を含む
補助金収入	受取利息・配当金	預金利息、債券の利金
資産運用収入	補助活動収入	学生寮の寮費収入
事業収入	受託事業収入	受託研究料
雑収入		学校法人に帰属する上記の各収入以外の収入をいう

支出の部(主なもの)

大科目	小科目	備考
人件費	教員人件費	教員(学長含む)に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
	職員人件費	教員以外の職員に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
教育研究経費	奨学費	奨学生の奨学金
	減価償却費	教育研究用減価償却資産に係る当該会計年度分の減価償却額をいう。
管理経費	減価償却費	教育研究用減価償却資産以外の減価償却資産に係る当該会計年度分の減価償却額をいう。
資産処分差額		資産の帳簿残高が当該資産の売却収入金額を超える場合のその超過額をいい、除却損または評価損を含む。

貸借対照表		(平成26年3月31日)		(単位：円)	
資産の部		負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部			
科目	金額	科目	金額		
固定資産		負債の部			
有形固定資産		固定負債			
うち土地	6,885,223,494	うち長期借入金	654,360,000		
うち建物	15,444,766,398	うち退職給与引当金	1,611,560,834		
うち構築物	961,110,517	うち長期未払金	41,818,689		
うち教育研究用機器備品	2,683,414,163	流動負債		2,546,498,014	
うちその他の機器備品	29,369,421	うち短期借入金	131,780,000		
うち図書	4,542,282,534	うち未払金	62,369,114		
うち車両他	16,839,056	うち前受金	2,264,195,500		
		うち預り金	88,153,400		
その他の固定資産		負債の部合計		4,854,237,537	
うち退職給与引当特定資産	1,612,016,830	基本金の部			
うち減価償却引当特定資産	14,744,857,785	第1号基本金	49,569,213,737		
うち校舎建設等引当特定資産	7,419,504,875	第4号基本金	407,000,000		
うち創設準備引当特定資産	6,112,604,965	基本金の部合計		49,976,213,737	
うち保証金他	36,704,396				
		消費収支差額の部			
流動資産		翌年度繰越消費収支超過額		11,009,755,784	
うち現金預金	5,076,420,456				
うち未収入金他	275,092,168	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計		65,840,207,058	
資産の部合計					

貸借対照表

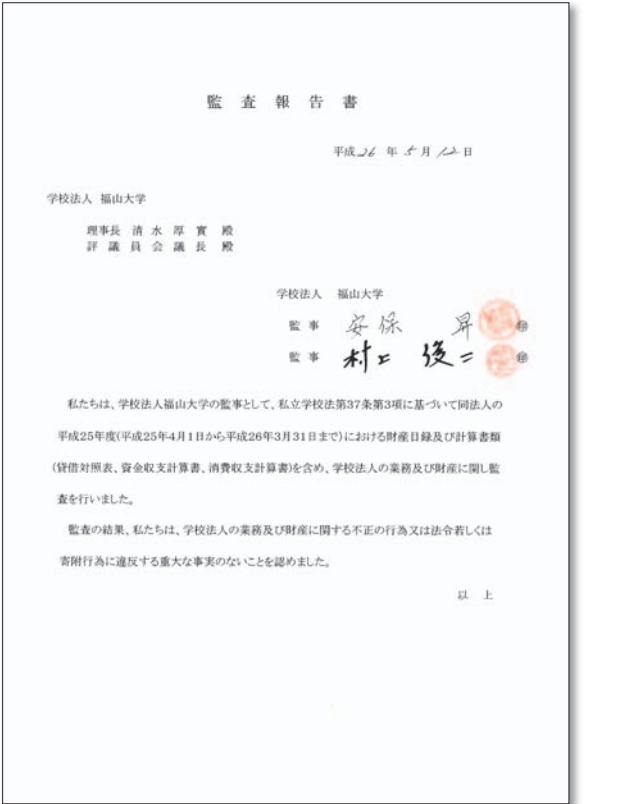
科目説明(科目は抜粋)

資産の部		
大科目 中項目	小 科 目	備 考
固定資産		
有形固定資産		
		貸借対照表日後1年を超えて使用される資産をいう。耐用年数が1年未満になっているものであっても使用中のものを含む。
	建物	建物に附属する電気、給排水、暖房等の設備を含む。
	構築物	庭園等の土木設備又は工作物をいう。
	教育研究用機器備品	標本及び模型を含む。
その他の固定資産		
	電話加入権	加入電話等の設備負担金額をいう。
流動資産		
	未収入金	学生生徒等納付金、補助金などの貸借対照表日における未収入額をいう。
	有価証券	一時的に保有する有価証券をいう。

科目説明(科目は抜粋)

負債の部		
大 科 目	小 科 目	備 考
固定負債		
	長期借入金	その期限が貸借対照表日後1年を超えて到来するものをいう。
	退職給与引当金	退職給与規程等による計算に基づく退職給与引当額をいう。
流動負債		
	短期借入金	その期限が貸借対照表日後1年以内に到来するものをいう。
	預り金	教職員の源泉所得税、共済掛金等の預り金をいう。

財産目録		(平成26年3月31日)		(単位：円)	
I 資産				65,840,207,058	
1. 固定資産				60,488,694,434	
土地	大学敷地他	337,887 m ²		6,885,223,494	
建物	大学校舎他	148,315 m ²		15,444,766,398	
構築物	道路舗装外			961,110,517	
教育研究用機器備品	パソコン他			2,683,414,163	
その他の機器備品	学生寮厨房機器他			29,369,421	
図書				4,542,282,534	
車両				15,880,921	
船舶				100	
建設仮勘定				958,035	
電話加入権				3,048,426	
施設利用権				600	
保証金				33,495,370	
敷金				160,000	
退職給与引当特定資産				1,612,016,830	
減価償却引当特定資産				14,744,857,785	
校舎建設等引当特定資産				7,419,504,875	
創設準備引当特定資産				6,112,604,965	
2. 流動資産				5,351,512,624	
現金・預金				5,076,420,456	
未収入金				167,416,221	
貯蔵品				0	
有価証券				81,300,347	
前払金				26,375,600	
II 負債				4,854,237,537	
1. 固定負債				2,307,739,523	
長期借入金	日本私立学校振興・共済事業団			654,360,000	
退職給与引当金				1,611,560,834	
長期未払金				41,818,689	
2. 流動負債				2,546,498,014	
短期借入金	日本私立学校振興・共済事業団			131,780,000	
未払金				62,369,114	
前受金				2,264,195,500	
預り金				88,153,400	
III 正味財産(Ⅰ－Ⅱ)				60,985,969,521	



平成27年度 入学試験の概要

平成27年度入学試験の日程については、次のとおりです。全入学試験において、同窓生・在学生入学金減免制度を実施しています。同窓生・在学生入学金減免制度とは、福山大学・福山平成大学の同窓生の子弟及び在学生の兄弟に対して、就学時の経済的支援のため、入学金を減免する制度です。また、同窓生の子弟及び在学生の兄弟とは、入学者の親、兄弟、姉妹のいずれかが福山大学・福山平成大学の卒業生又は在学生（留学生は除く）です。その他、指定校入学試験を実施しています。

なお、入学試験の詳細については入試広報室までお問い合わせください。

◆入試日程

入試種別	出願期間	試験日	合格発表日
A O 入学試験（第1期）	（エントリーシート提出期間） 平成26年 8 月 1 日（金） ～ 8 月 6 日（水）（必 着）	平成26年 9 月 2 日（火）	平成26年 9 月 5 日（金）
A O 入学試験（第2期）	（エントリーシート提出期間） 平成26年 9 月 10 日（水） ～ 9 月 17 日（水）（必 着）	平成26年 10 月 11 日（土）	平成26年 10 月 15 日（水）
推薦入学試験（A 日程） （試験日自由選択制）	平成26年 10 月 11 日（土） ～ 11 月 1 日（土）（消印有効）	平成26年 11 月 7 日（金） 平成26年 11 月 8 日（土）	平成26年 11 月 13 日（木）
推薦入学試験（B 日程）	平成26年 11 月 25 日（火） ～ 12 月 2 日（火）（消印有効）	平成26年 12 月 6 日（土）	平成26年 12 月 11 日（木）
前期入学試験（A 日程） （試験日自由選択制）	平成27年 1 月 5 日（月） ～ 1 月 24 日（土）（消印有効）	平成27年 1 月 31 日（土） 平成27年 2 月 1 日（日） 平成27年 2 月 2 日（月） 平成27年 2 月 3 日（火）	平成27年 2 月 9 日（月）
前期入学試験（B 日程）	平成27年 2 月 4 日（水） ～ 2 月 17 日（火）（消印有効）	平成27年 2 月 21 日（土）	平成27年 2 月 25 日（水）
後期入学試験	平成27年 2 月 26 日（木） ～ 3 月 9 日（月）（消印有効）	平成27年 3 月 14 日（土）	平成27年 3 月 18 日（水）
センター試験利用入学試験 （前期日程）	平成27年 1 月 5 日（月） ～ 1 月 24 日（土）（消印有効）	個別学力試験は課さない	平成27年 2 月 9 日（月）
センター試験利用入学試験 （後期日程）	平成27年 2 月 26 日（木） ～ 3 月 9 日（月）（必 着）	個別学力試験は課さない	平成27年 3 月 18 日（水）

※試験日自由選択制とは、上記試験日の中から、試験日を志願者が自由に選択できる制度です。

志願者は、同一学部・学科を複数回志願することや、異なる学科を1日ずつ志願することもできます。

◆試験地

○A O 入試（第1期・第2期）【福山（宮地茂記念館）】

○推薦入試（A 日程）【11/7・11/8 本学・福山（宮地茂記念館）・広島・福岡・岡山】

【11/7 鳥取・徳島・高知・大阪・那覇】【11/8 松江・高松・松山・神戸・山口】

○推薦入試（B 日程）【本学・福山（宮地茂記念館）・広島・山口・松江・高松・松山・福岡・岡山・大阪】

○前期入試（A 日程）【1/31 ～ 2/3 本学・福山（宮地茂記念館）・広島・山口・福岡・岡山】

【1/31 鳥取・浜田・宮崎】【2/1 米子・大分】【2/2 静岡・神戸・熊本】【2/3 名古屋・京都・佐賀】

【1/31 ～ 2/1 東京・大阪・松山・高知・鹿児島】【2/2 ～ 2/3 松江・高松・今治・小倉】

○前期入試（B 日程）【本学・福山（宮地茂記念館）・広島・岡山】

○後期入試【本学・福山（宮地茂記念館）・広島・福岡・岡山・大阪】

編集後記

学報第141号では、就職状況や新入生合宿オリエンテーション、研究・地域連携活動、学内トピックス等、様々な話題を取り上げることができました。就職状況では、就職支援の取り組みや内定者のコメントを主に掲載しました。また、新入生合宿オリエンテーションでは、各学部の新入生から初々しいコメントが寄せられました。このオリエンテーションによって、新入生は学生生活を順調にスタートさせることができたと思われます。研究活動や地域連携活動も、本学では積極的に行われており、『元気な福山大学』を改めて紹介することができました。

発行 福山大学

編集 福山大学広報委員会

〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL (084) 936-2111 FAX (084) 936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>